

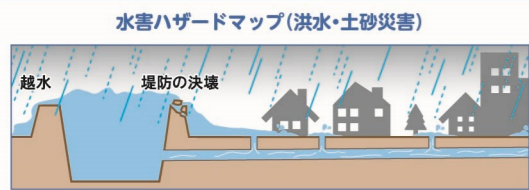
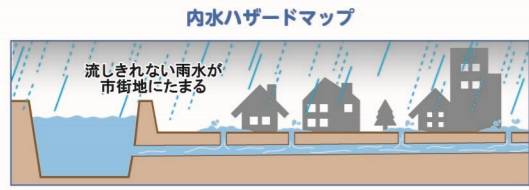
内水ハザードマップ

(下水道計画区域内)

13 常石・千年・能登原・鞆地区

内水ハザードマップは、想定最大規模の雨が降った場合に、内水氾濫が想定される区域や浸水の深さ、緊急避難場所などの情報を示しており、市民の皆さんに日頃からの備えや対策、避難ルートの確認など、事前の準備を心掛けていただくために作成したものです。想定最大規模の雨とは、1時間当たり130mmの雨としています。実際の降雨状況により浸水が発生する場所や浸水深さが異なる場合がありますのでご注意ください。

ハザードマップの使い分け



福山市では他に津波ハザードマップ・防災重点ため池ハザードマップ・地震防災マップがあります。併せて確認しましょう。

内水氾濫の発生は、避難情報の発令では間に合わないことがあります。気象情報や気象庁の浸水キキルを参考に自ら判断して避難行動を行いましょう。

マップに関するお問い合わせ先 福山市上下水道局 工務部 上下水道計画課 TEL : 084-928-1090 e-mail : jyougusui-keikaku@city.fukuyama.hiroshima.jp

内水氾濫と洪水(河川氾濫)の発生について



宅地や道路に降った雨は、下水道や水路等を通して河川に排水されます。



集中豪雨に注意しよう

突発的かつ局地的な集中豪雨に備えて、ふだんから雨の様子をチェックしておきましょう。

1時間に10～20mmの雨地面からの跳ね返りで足元がぬれる。長く続く時は注意が必要。	1時間に20～30mmの雨傘をさしてもぬれてしまうほどの土砂降り。ような雨。側溝や下水などがあふれる。	1時間に30～50mmの雨バケツをひっくり返したような雨。道路が川のような。道路が川のようになる。	1時間に50～80mmの雨滝のような雨。水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。	1時間に80mm以上息苦しくなるような圧迫感がある。大規模な災害が発生するおそれが高く、嚴重な警戒が必要。

災害に備える

- 災害が発生すると物資の入手が困難になるため、平常時から各自で非常時持ち出し品や備蓄品を準備しておくことが必要です。
- いざという時に適切に避難できるよう、積極的に防災訓練に参加しましょう。

非常時持ち出し品

- 持ち出し品は、リストを参考に、家族構成を考えて必要なものを用意しておきましょう。
- 持ち出し品を入れる袋は、体に合った大きさを用意し、自分で背負うことのできる重さにしましょう。
- 離ればなれになったときのために荷物は各自のリュックに分割しておきましょう。

分類	項目
食料品 <small>※最低3日分(できれば1週間分)</small>	<input type="checkbox"/> 飲料水 <input type="checkbox"/> 乾パン <input type="checkbox"/> ビスケット・チョコレート <input type="checkbox"/> レトルト食品 <input type="checkbox"/> ご飯(アルファ米など) <input type="checkbox"/> 哺乳瓶 <input type="checkbox"/> 粉ミルク <input type="checkbox"/>
生活用品	<input type="checkbox"/> 毛布 <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> ラップ <input type="checkbox"/> ティッシュ <input type="checkbox"/> ビニール袋 <input type="checkbox"/> マッチ・ろうそく <input type="checkbox"/> 充電器 <input type="checkbox"/> 予備電池(モバイルバッテリー) <input type="checkbox"/> 簡易トイレ・携帯トイレ(7日間が目安) <input type="checkbox"/> 生理用品 <input type="checkbox"/> 紙おむつ <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ <input type="checkbox"/> 歯ブラシ・歯磨き粉 <input type="checkbox"/> 洗面用具
医療・衛生用品	<input type="checkbox"/> 薬 <input type="checkbox"/> 包帯 <input type="checkbox"/> ガーゼ <input type="checkbox"/> ばんそうこう <input type="checkbox"/> お薬手帳 <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> ウェットティッシュ <input type="checkbox"/>
貴重品	<input type="checkbox"/> 現金(小銭も忘れず) <input type="checkbox"/> 通帳 <input type="checkbox"/> マイナンバーカード <input type="checkbox"/> 印鑑
衣料品	<input type="checkbox"/> 下着 <input type="checkbox"/> 靴下 <input type="checkbox"/> 長袖上着 <input type="checkbox"/> 長ズボン <input type="checkbox"/> 作業用綿手袋 <input type="checkbox"/> 防寒着 <input type="checkbox"/> 雨がっぱ・雨具 <input type="checkbox"/>
避難用具	<input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ <input type="checkbox"/> ヘルメット・頭巾 <input type="checkbox"/>
ペット用具 <small>※ペットがいる場合</small>	<input type="checkbox"/> ケージ <input type="checkbox"/> リード <input type="checkbox"/> ペットシート <input type="checkbox"/> 餌・水 <input type="checkbox"/>

※リストはあくまでも参考です。()内には必要なものを追加記入するなど、各ご家庭に必要なものを準備してください。

ローリングストック(家庭での備蓄)

備える ※3日分を目安に!
日頃から少し多めに食材や加工品をストックしておきます

食べる・使う
消費期限が近いものから順に備蓄を使います

買い足す
使った分だけ、少し多めに買い足しておきます

「ローリングストック」とは非常用のためだけでなく、普段から食べているものや消耗品を少し多めに買って置き、使った分だけ新しく買い足していく循環型の備蓄方法です。

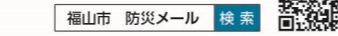
飲食物品だけでなく、日用品(トイレ用紙、乾電池などの消耗品)もストックしておきましょう。また、アウトドアグッズも災害時には防災グッズとしてそのまま活用できます。

情報の入手方法

自動配信されるもの(PUSH型)

ふくやま防災メール 要事前登録

あらかじめ登録した連絡先へ防災情報が配信されます。



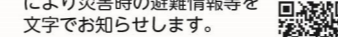
電話(災害情報電話通報サービス)

携帯電話をお持ちでない方への固定電話へ、避難情報等を音声で案内します。



ファックス 要事前登録

聴覚に障がいのある方など、ファックスにより災害時の避難情報等を文字でお知らせします。



緊急速報メール

緊急速報メールに対応した携帯電話・スマートフォンに配信されます。

広報車等による広報

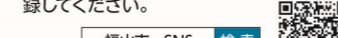
状況に応じて、必要な地域へ広報車が動きます。

自身で情報収集するもの(PULL型)

テレビ・ラジオ

福山市のSNS

福山市では、Facebook、X、Instagram、LINEなどさまざまなSNSを活用して情報を発信しています。使いやすいものを登録してください。



ホームページ(防災・危機管理情報)

福山市ホームページで公開している防災情報です。緊急避難場所、ハザードマップ、防災情報などを確認することができます。



キキル(危険度分布)

キキルとは、気象庁が提供する、大雨による災害の危険度を地図上で確認できる「危険度分布」の愛称です。土砂災害、浸水害、洪水災害の危険度を5段階の色分けでリアルタイムに表示しています。災害発生を察知し、安全なうちに避難するために活用してください。

浸水キキル

浸水害の危険度

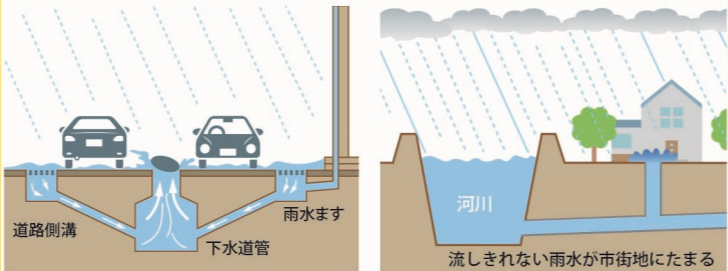
- 高: 災害切迫 ← 重大な災害がすでに発生している可能性が高い
- 危険: 危険 ← 重大な災害が数時間以内に発生するおそれ
- 警戒: 警戒
- 注意: 注意
- 低: 今後の情報等に留意

キキル 検索

内水氾濫の発生



大雨が降ると、雨水が排水できなくなり、宅地や道路の浸水が発生します。

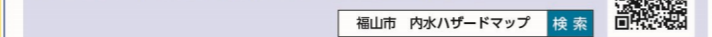


内水ハザードマップとは?

内水氾濫によって想定される浸水区域や浸水の深さ、緊急避難場所などの情報をまとめたマップです。内水氾濫とは、雨の量が下水道などの排水能力を超えたときや、河川などの排水先の水位が高くなったときに雨水を排水できなくなり、浸水することです。

内水ハザードマップ

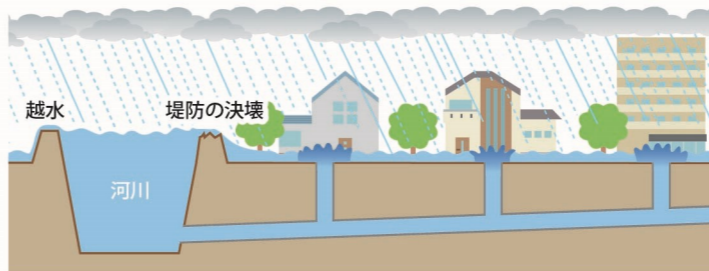
内水ハザードマップは福山市ホームページで確認ができます。



洪水(河川氾濫)の発生



大雨が続くと、河川の堤防が決壊し、大きな被害が発生します。

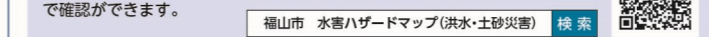


水害ハザードマップ(洪水・土砂災害)とは?

洪水(河川氾濫)によって想定される浸水区域や浸水の深さ、緊急避難場所などの情報をまとめたマップです。洪水(河川氾濫)とは、大雨によって河川の水位が高くなり、堤防を越えて水があふれたり、堤防が決壊したりすることで、大きな被害が発生することです。

水害ハザードマップ(洪水・土砂災害)

水害ハザードマップ(洪水・土砂災害)は福山市ホームページで確認ができます。



避難行動について

ハザードマップで自宅と避難場所を確認しましょう

- 自宅付近が浸水したときにどのくらいの水深になるかを確認しましょう。
- 自宅から避難先までの複数の道順を、ハザードマップに書き込みましょう。鉄道や道路を渡れる場所を確認しましょう。



なお、災害の状況により、開設する緊急避難場所は異なります。避難する際は、福山市ホームページ等で開設している緊急避難場所を確認してください。

- 地域などで、このハザードマップを活用した避難訓練を行い、災害時の適切な行動につなげましょう。



側溝や雨水ますをふさがないようにしましょう

- 雨水ますの吸い込み口が落葉やゴミで詰まると、道路浸水などの原因になります。
- 雨水ますやL型側溝の上に車乗り入れブロックなどを置かないようにしましょう。
- 日頃から、側溝や雨水ますを点検しましょう。



避難の考え方

- 避難情報が出る前でも、身の危険を感じる場合は安全な場所へ避難を開始してください。

水平避難	垂直避難
緊急避難場所や高台や安全な知人宅など	自宅の上階や近隣建物への避難

警戒レベルととるべき行動

大雨時には、福山市から発令する避難情報や、気象庁から防災気象情報が発表されます。情報を正しく理解し、とるべき行動に結びつけることで、危険から身を守りましょう。

警戒レベル	市町村 避難情報等	気象台			住民がとるべき行動	
		河川氾濫 <small>1級河川などの大きな河川の氾濫</small>	大雨 <small>低地の浸水や大河川以外の氾濫</small>	土砂災害 <small>急傾斜地のかけ崩れや土石流</small>		高潮 <small>海水面上昇や波の打上げによる浸水</small>
5	緊急安全確保 5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保!
《警戒レベル4までに危険な場所からかならず避難!》						
4	避難指示 4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から 全員避難
3	高齢者等避難 3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は 早めに避難、避難の準備など
2	(気象台が発表する情報→)	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認 (避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど)
1	(気象台が発表する情報→)	早期注意情報				災害への心構えを高める

※2026年(令和8年)5月下旬から、上記の新たな防災気象情報の運用が開始されます。

近年の豪雨災害(平成30年7月豪雨)

2018年(平成30年)6月28日から7月8日にかけて、西日本を中心とする広い範囲において、台風第7号および梅雨前線の影響により、長時間にわたる記録的な集中豪雨が発生しました。この大雨により、全国各地の観測地点で24時間、48時間、72時間降水量が観測史上1位を記録したほか、広島県や岡山県など1府10県に特別警報が発表されました。河川の氾濫や浸水害、土砂災害が各地で発生し、甚大な被害をもたらしました。

福山市の状況

- 24時間雨量238mm
- 48時間雨量364.5mm
- 72時間雨量392.5mm
- ※観測史上1位の降雨を記録
- 浸水面積: 約2,000ha
- 床上浸水被害棟数: 1,301棟 (2019年1月31日時点)

